

IV その他の課題に対する審議・取組みの状況

第3期区民会議では、審議課題「新しい形のコミュニティ」以外にも、いくつかの課題に取組み、区民会議での情報提供や関係機関等との意見交換をしてきました。以下に、その内容を紹介します。

1 「環境まちづくり」の取組

(1) 「たかつエコ・エネライフコンクール」の開催

第1期高津区民会議で審議された「環境まちづくり」の取組の一つとして、第2期区民会議から提案した「たかつエコ・エネライフコンクール」に対して第3期も開催協力するとともに、審査委員としても区民会議委員が参加しました。



■たかつエコ・エネライフコンクールの概要

□目的

自然保護や省エネルギー活動など、環境にやさしい実践活動のうち、すぐれた取組やユニークな取組を表彰し、環境に関する意識を高め、身近な地域からの環境まちづくりを進めることを目的としました。

□募集内容

「エコ・エネライフ」「緑のカーテン（個人・ファミリー）部門」「緑のカーテン（グループ・事業者）部門」の3部門で次のような活動を募集しました。

部 門	活 動	応募件数
エコ・エネライフ	区内における消費電力の削減に関する取組	6件
緑のカーテン （個人・ファミリー）部門	①個人や家庭における「緑のカーテン」の取組 ②近所ぐるみの取組など「緑のカーテン」を通じたコミュニティ活動 ③「緑のカーテン」をもっと「楽しむ」「広める」工夫	13件
緑のカーテン （グループ・事業者）	①会社やグループによる「緑のカーテン」の取組 ②地域ぐるみの取組など「緑のカーテン」を通じたコミュニティ活動 ③「緑のカーテン」をもっと「楽しむ」「広める」工夫	6件

(2) 「エコシティたかつ」推進フォーラムの開催（「エコシティたかつ」推進会議主催）

「環境まちづくり」を広くアピールし、推進するための「エコシティたかつ」推進フォーラムが、平成24年2月26日（日）に開催されました。「NECインフロンティアの取組み」と題した講演、エコ落語、「高津区にあるビオトープから流域の自然の賑わいを」のテーマでパネルディスカッションなどが行われ、また、同日に「たかつエコ・エネライフコンクール2011」の表彰式も行われました。

(3) エコ企業調査（「エコシティたかつ」推進会議主催）

平成24年2月10日（金）に、川崎市内の環境に配慮した取組を行っている（株）新川崎製作所（川崎市高津区）、（株）朝日プリンテック（川崎市中原区）を視察しました。また、とどろきアリーナで開催された川崎国際環境技術展2012を見学しました。

視察には、使用済み天ぷら油を使用したバイオディーゼルバスを使用しました。区民会議からも委員が参加しました。

■参加者の感想

- ・2社巡り、企業としての日常の取組を拝見したが、ポットを止めての節電など、個人としての取組にも共通するものがあった。
- ・エコバスに乗るのが初めてだったので良かった。企業はいろいろ頑張っているのも、一般の方にも広がると良いと思った。
- ・新川崎製作所は、高津の地元でまじめにエコに取組んでいて関心した。
- ・NECなどこれまでも先進的な取組をしてきた企業があったが、次の企業が出てこなかった。今日はその企業が見られて良かった。
- ・今日は企業の取組を見たが、市民の取組も実を結んで行きたい。環境美術展には、かえるプロジェクト、石けんプラントとして5回目の出展だった。年々どのブースも賑わってきており、続けることで、川崎市にしかない環境技術を広めて行きたい。

2 東日本大震災後の防災への取組

第2期の審議課題である「地域防災とコミュニティ」に関しては、「新しい形のコミュニティづくり」と関連付けて取組を進めることとしましたが、平成23年3月11日には東日本大震災が発生し、地域防災力の向上が喫緊の課題となったことから、第3期区民会議においても随時議題とし、行政の取組状況の把握等に努めました。

(1) 東日本大震災に関わる高津区対策本部の活動状況の把握

東日本大震災時における高津区の被害状況及び対策本部の活動状況等について、報告を受けました。また、実際に被災地で支援活動を行った職員から、「被災地支援の現場から」と題して報告を受けるとともに、より多くの区民に被災地の現状を知ってもらうために、広報紙「たかつ区民会議ニュース」に、その概要を掲載しました。

(2) 川崎市及び高津区の防災に関する取組の把握

「川崎市備蓄計画」、「川崎市地域防災計画」に基づき、川崎市の防災に対する取組を把握するとともに、「川崎市地震防災戦略」の策定作業について報告を受けました。

高津区の取組では、「高津区地域防災計画」の改定と「高津区防災ネットワーク会議」の設置について内容を把握しました。また、「高津区地域防災計画」の改定と平行して、①区災害対策本部体制の充実、②避難所解説・運営方法の確立、③資器材・備蓄物資の充実等、「日常的な備え」の充実に向けた取組を今後進めることを確認しました。



■ 地域防災とコミュニティ「5つの提言」（第2期区民会議の提言）

- 提言1 一人ひとりの防災意識の向上～まずは災害への備えを意識すること～
- 提言2 各家庭における備えの充実～家庭でできるこれだけのこと～
- 提言3 地域の実情にあった備蓄体制の確立～使う人の立場に立った備蓄のために～
- 提言4 防災ネットワーク連絡会議・避難所運営会議の活性化～まずは顔合わせから始めよう～
- 提言5 地域防災の基盤としてのコミュニティ強化～基本は日々のコミュニケーション

3 「多摩川河川敷バーベキュー」適正化の取組

第2期高津区区民会議で審議された「環境まちづくり」の取組の一つである、「多摩川河川敷バーベキュー」の適正化に関して、第3期も継続して審議しました。

高津区二子橋周辺の多摩川河川敷は、平成8年頃からバーベキュー利用に伴うごみの大量発生や騒音などの社会問題が顕在化したため、平成16年度から川崎市が中心となり関係機関などで構成する「バーベキュー対策会議」を開催し、利用者への啓発や警察との合同パトロールなどを進めてきました。また近年は、ごみ処理についての受益者負担を求める意見が多く寄せられたため、川崎市では、平成22年9月1日（木）～30日（金）に、河川敷使用有料化の社会実験を実施しました。

区民会議では、「バーベキュー対策会議」での審議内容を会議内で情報共有するとともに、二子橋周辺バーベキュー対策に伴う社会実験について、平成22年9月11日（土）午後に視察を行いました。



参考

■多摩川緑地バーベキュー広場について

上記の社会実験やバーベキュー対策会議での検討を経て、平成23年4月1日から有料のバーベキュー広場が設置されました。

名称	多摩川緑地バーベキュー広場
場所	二子橋多摩川河川敷（川崎市高津区瀬田地先）
交通	東急田園都市線・大井町線 二子新地駅より徒歩約5分 ※ <u>駐車場</u> （土、日、祝日のみ開場）は台数に限りがあるためなるべく公共交通機関をご利用下さい。
時間	4-9月 9時～18時（受付15時まで） 10-3月 9時～16時（受付13時まで）
期間	通年（12月29日～1月4日を除く）
使用料	一人500円（6歳以上）

注意事項等については川崎市ホームページをご覧ください。

4 溝口駅南口広場整備事業について

溝口駅南口広場整備事業について、会議の中で（平成23年度第3回会議）区から経過と概要に関する説明があり、進捗状況を確認しました。



■溝口駅南口広場整備事業の概要

市は溝口駅利用者の利便性を大幅に向上し、主要ターミナル駅にふさわしい交通結節点機能の強化や、高齢者や障害者の円滑な移動を支援するバリアフリーに対応し、地域生活拠点地区にふさわしい都市基盤整備を図るため、溝口駅南口に駅前広場と広場敷地内の立体空間を有効に活用した駐輪場の整備を進めています。

駐輪場は平成25年度、駅前広場は平成26年度中の整備を予定しています。

5 「高津区ふるさとアーカイブ事業」について

区では区制40周年を記念し「高津区ふるさとアーカイブ事業」を開始します。本事業の方向性を定める「高津区ふるさとアーカイブ基本構想」の策定にあたり、区民会議委員長が検討委員として参加するとともに、事業の概要について区民会議で報告を受けました。



■ 区制40周年記念 高津区ふるさとアーカイブ事業 ～まちの記憶を共有の財産に～

(1) 事業概要

高津区は2012年に区制40周年を迎えます。区ではこれを記念し「高津区ふるさとアーカイブ事業」として、区の歴史を物語る写真資料等を収集し、区民の皆様が様々な活動で地域に関する情報を活用し、楽しむことができるよう、記念誌やインターネットなど、さまざまなコンテンツによる提供をすすめます。

(2) 事業スケジュール

- 2011年度 「高津区ふるさとアーカイブ基本構想」の策定
- 2012年度 区制40周年記念誌の発行
- 2013年度 デジタルアーカイブの構築
- 2014年度 デジタルアーカイブの運用による資料収集と活用